

業者ノ生活ヲ保障シ改善セシムベキ機關スラ一モ完全ナ

ルヲ見ズ、斯クノ如クニシテ眞ニ海國日本ノ素質ヲ充實

シ國力ノ増進ヲ期圖スルコトハ殆ブト不可能事ト謂フベ

ク況ンヤ國際的ニ日本海員ノ地位ヲ認識セシムルガ如キ

ハ實ニ至難ト謂ハザルベカラズ爰ニ於テカ我等同志ハ今

次蹶然起ツテ是等ノ缺陷ヲ補足スベク小異ヲ捨テ、大同

ニ就キ舊習ヲ去リテ新制ニ據リ茲ニ日本海員組合トシテ

大同團結ヲ完成シ來ル五月七日ヲ以テ其ノ發會式ヲ舉ゲ

ムトス此事ナルヤ内ニテアリテハ日本海事ノ發達ニ貢獻シ

ノ確立ニ適應スベク洵ニ時代ノ要求ニ促進セラレタルモ

ノニ他ナラズ若夫レ新機關ノ運用如何ハ組合員各自奮勵

努力ニ由リテ之カ最善ヲ期スベキモノナリ冀クハ帝國海

員タル諸賢我等ノ微衷ヲ諒トシ此舉ニ賛同セラレ悉ク本

組合ニ加入セラレムコトヲ

大正十年四月

日本海員組合

組合長 檜崎 猪太郎

外創立委員一同

日本海員組合規約

第一章 名稱及位置

第一條 本組合ハ日本海員組合ト稱ス

第二條 本組合ハ本部ヲ神戸ニ支部ヲ横濱ニ置

本組合ノ業務發展上必要ト認メタルトキハ評
議員會ノ決議ニ依リ支部、出張所又ハ出張員
ヲ重要地點ニ置クコトヲ得

第二章 組合ノ組織

第三條 本組合ハ日本帝國政府ノ發行スル船員
手帖ヲ受有スル船員ヲ以テ組織ス

第四條 本組合ハ甲板部、機關部、司厨部ノ三
部トシ各部ニ部長ヲ置キ當該事務ヲ分擔處理
セシム

第三章 組合ノ目的

第五條 本組合ハ左記事業ヲ行フヲ以テ目的ト

一、組合員品性ノ向上、團體の精神及職業ニ
對スル自尊心並ニ責任觀念ノ涵養、組合員
共同福利ノ擁護及増進ニ關スル事項
二、雇傭契約履行ノ監視、労働條件及船内施
設ノ改善、法律上及社會上ニ於ケル海員ノ
地位ノ向上及生活ノ安定促進ニ關スル事項

三、雇傭契約又ハ労働條件其他組合ニ關スル
爭議仲裁ニ關スル事項

四、海員ノ無料職業紹介事務ニ關スル事項

五、機關雜誌又ハ新聞發行ニ關スル事項

六、購買組合設置ニ關スル事項

七、組合員ノ負傷、疾病、失業、養老ニ關ス
ル共濟及海員寄宿舎、病院等ノ施設

第四章 組合員

第六條 本組合員ハ思想堅實、身體強健ナル者
ニ限ル

第七條 組合員ハ固ク本組合ノ趣旨綱領ヲ體シ
苟モ本組合ノ目的ニ反シ又ハ本組合ノ信用ヲ
傷ケ若ハ本組合ノ事業ヲ妨害スベカラズ

第八條 本組合ニ加盟セントスル者ハ組合員二
名ノ紹介ニ依リ別ニ定ムル申込用紙ニ記名捺
印シ加盟金壹圓ヲ添ヘ本組合ニ提出スル
トス

第九條 本組合ハ前條ノ申込ヲ承諾シタルトキ
ハ直チニ本組合員手帖及徽章ヲ本人ニ交付ス
但シ之ニ要スル實費ハ別ニ徴收スルモノトス

第十條 組合員ハ組合費トシテ金壹圓也ヲ毎月
末マデニ本組合ニ納付スベキモノトス
前項ノ組合費ハ休職中ノ者ハ乗船マデ納付ヲ
延期スルコトヲ得但シ事情ニ依リ役員會ノ決
議ヲ以テ之ヲ免除スルコトアルベシ遠洋航海
三ヶ月ヲ超過スル場合ハ其ノ月數ノ二分ノ一
以上ニ相當スル組合費ヲ前納スベキモノトス
第十一條 組合員ニ關シ雇傭契約ノ履行其他ニ
付不利益ナル事件發生シタルトキハ明細ニ其
事情ヲ具シ直チニ本組合ニ報告スベキモノト

68